

- blood pressure-independent arterial wall stiffness parameter, cardio-ankle vascular index (CAVI), *J Atheroscler Thromb* 2007; 71: 89–94.
- 6) Kubozono T, Miyata M, Ueyama K et al. Association between arterial stiffness and estimated glomerular filtration rate in the Japanese general population, *J Atheroscler Thromb* 2009; 16: 840–5.
 - 7) Kim S, Iwao H. Molecular and cellular mechanisms of angiotensin II-mediated cardiovascular and renal diseases, *Pharmacol Rev* 2000; 52: 11–34.
 - 8) Vaziri ND, Dicus M, Ho ND et al. Oxidative stress and dysregulation of superoxide dismutase and NADPH oxidase in renal insufficiency, *Kidney Int* 2003; 63: 179–85.
 - 9) Moe SM, Chen NX. Pathophysiology of vascular calcification in chronic kidney disease, *Circ Res* 2004; 95: 560–7.
 - 10) Maekawa K, Shoji T, Emoto M et al. Influence of atherosclerosis on the relationship between anaemia and mortality risk in haemodialysis patients. *Nephrol Dial Transplant* 2008; 23: 2329–36.

今月の 用語

隣に伝えたい 新たな言葉と概念

【CAVI】

英 Cardio Ankle Vascular Index

和 心臓足首血管指數

略 CAVI

動脈は心臓から拍出される血液を末梢へ伝えるが、この血液の流れが脈の波（脈波）となって動脈内を伝播していく。血管が硬い時は脈波の伝播は速く、血管が柔らかい時は、脈波はゆっくりと伝播される。従って、脈波の伝播時間を計測すれば、血管の弾性率（硬さ）を推定できる。

血圧に依存しない局所動脈壁の硬化度指標として、従来 stiffness parameter β があったが、これは動脈の径の計測が必要で、測定時間が20–30分と長いのが欠点でもあった。そこで動脈径の計測式に、脈波伝播速度の計測式を代入した Cardio Ankle Vascular Index (CAVI) が考案された。

$$(CAVI \text{ 計算式} = (In \frac{P_s}{P_d}) \cdot \frac{2\rho}{\Delta P} \cdot PWV^2)$$

P_s : 収縮期血圧, P_d : 拡張期血圧, PWV : 心臓～足首の脈波速度, ρ : 血液密度, ΔP : 脈圧)

CAVI検査では、血圧を測定するためのカフを上腕と足首に巻いて、心音を聴取するマイクを胸に装着する。心臓から足首までの距離を計測し、心臓と足首での脈波の時間差から脈波速度を割り出し、血圧を加味して値を求める。検査時間は5分程度と短い。

CAVIの正常値は8未満であり、8から9が境界域、9以上で動脈硬化が疑われる。またCAVI値が9未満であっても、性、年齢別の平均値を比べることにより、大凡の血管年齢を診断できる。問題点としては、理論上血圧の影響を受けないとはされているものの、ある程度は影響を受けることと、下肢の動脈狭窄～閉塞例や不整脈多発例、心雜音例などでCAVI値が不正確になる点があげられる。

関連学会

日本循環器学会、日本脈管学会、日本高血圧学会、日本動脈硬化学会など

(国立循環器病研究センター 心臓血管内科 鎌倉史郎) 本誌316pに記載